

施策評価シート

対象事業年度 令和 元 年度

施策5

政策	Ⅲ 環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり	施策推進 責任者	企画調整室長・港営部長・建設部長
施策	5 良好な港湾環境の形成		

1. PLAN(目的・展開内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	地域住民、来訪者、就業者、船会社、港湾運送事業者、荷主など	意図(どういった状態にしたいのか)	水域の適正な管理が行われ、港湾における環境負荷が低減するなど、自然環境、生活環境、地球環境などさまざまな面で環境を守り環境にやさしい港
	サービスの対象物(何を)	港湾のあらゆる機能への環境配慮や自然環境保全の取組		
展開	名古屋港から排出される温室効果ガスの削減に大きく貢献する、新舞子マリナーパーク風力発電所の適切な管理に努めます。また、本組合施設から排出される温室効果ガスの削減に積極的に取り組みます。生物多様性に配慮し、海域環境への負荷軽減を図るため、西部地区において浅場造成に取り組みます。港内環境を良好な状態に維持し、水域を適切に管理していくため、漂流物の速やかな除去や、放置艇対策に取り組みます。公有地の適切な管理に努めるとともに、西部地区等においては、定期的なパトロールや地元自治体・事業者と連携した一斉清掃を実施することで、ごみ等が不法投棄されにくい環境を整えます。			

2. DO(施策を構成する各事務事業の取組内容・今後の方向性)

コード	事務事業名 (担当課名)	成果目標名 【指標型】	29年度	30年度	元年度	目標値 (5年度)	元年度の 状況	元年度実施事業に基づく評価結果		2年度以降の方向性	事務事業の方向性を判断した理由 ・目標年次の変更等の理由 等
			上段: 成果目標 目標値					2年度以降の方向性			
			中段: 成果目標 実績値						成果		
施05 事01	温室効果ガス総排出量の削減 (環境担当)	当該年度の削減目標を達成 した項目数の割合 【単年度管理型】	100%	100%	100%	100%	目標値 をやや 下回る	継続	維持	維持	目標を達成できなかったのは、災害に備えた中川口ポンプ所の試運転の増加という必要不可欠な取組によるものであるため、成果・コストを維持とします。
			85.7%	85.7%	85.7%	3年度完了			取組及び資源(財・人)の投入は 妥当である。現状を維持する。		
			6,433千円	4,610千円	4,587千円						
施05 事02	風力発電施設の管理・運営 (施設工事担当)	風力発電施設の稼働率 【単年度管理型】	100%	100%	100%	100%	目標値 を下回 る	継続	維持	維持	港湾における温室効果ガス排出削減に寄与する必要があるため、故障により停止していた2号機の補修が完了し、稼働を再開していることから成果・コストを維持とします。
			41.7%	47.9%	54.9%				取組及び資源(財・人)の投入は 妥当である。現状を維持する。		
			16,463千円	20,003千円	96,379千円						
施05 事03	西部地区海域環境創造事業 (環境担当)	生物生息場の整備の進捗状 況(全3工程) 【進化管理型】			1工程	3工程(累計)	順調	継続	維持	維持	本港の持続可能な発展に向け、生物の生息場の創出を図る必要があるため。
					1工程	5年度完了			取組及び資源(財・人)の投入は 妥当である。現状を維持する。		
					22,537千円						
施05 事04	港湾環境の啓発 (環境担当)	環境学習参加者の理解度 【単年度管理型】			70%	90%	目標値 を上回 る	継続	縮小	縮小	新型コロナウイルス感染症対策からイベントの開催や環境学習の実施が困難な状況であるため。
					86%				資源(財・人)の投入を縮小し、一 時的に取組を縮小する。		
			2,860千円	1,844千円	1,938千円						
施05 事05	港内環境の調査 (環境担当)	測定計画等に基づく水底質 調査の実施率 【単年度管理型】			100%	100%	目標値 どおり	継続	維持	維持	水底質の状況を定期的に調査する必要があるため。
			100%	100%	100%				取組及び資源(財・人)の投入は 妥当である。現状を維持する。		
			19,948千円	16,970千円	17,811千円						
施05 事06	放置艇対策の推進 (プレジャーボート対策担当)	巡視及び行政指導を行った 回数 【単年度管理型】	36回	36回	48回	48回	目標値 をやや 下回る	継続	維持	維持	放置等禁止区域の拡大指定に向けて放置艇等の移動・撤去を確実に進めていく必要があるため。なお、巡視の効率化により、48回で巡視する範囲を46回で巡視できたため成果・コストは維持とします。
			49回	47回	46回				取組及び資源(財・人)の投入は 妥当である。現状を維持する。		
			68,468千円	23,266千円	11,410千円						
施05 事07	新舞子ポートパークの管理・運営 (プレジャーボート対策担当)	ポートパーク利用率 【単年度管理型】	100%	100%	100%	100%	目標値 をやや 下回る	継続	拡大	維持	放置艇対策を推進し良好な港湾空間を維持するため、新舞子ポートパークの管理・運営は不可欠であるため。また、ポートパーク利用率を向上させるため指定管理者に対し、指導・助言を行います。
			98%	95%	90%				資源(財・人)の投入は維持した まま、取組を強化することによっ て、成果をあげる必要がある。		
			9,190千円	9,219千円	7,787千円						
施05 事08	港湾区域内の漂流物除去 (海務課)	漂流物等による海難発生件 数 【単年度管理型】	0件	0件	0件	0件	目標 値どお り	継続	維持	維持	今後も航行船舶の安全及び港内の美化を図る事業が必要であるため。
			0件	0件	0件				取組及び資源(財・人)の投入は 妥当である。現状を維持する。		
			27,818千円	27,744千円	113,561千円						
施05 事09	公有地の管理 (管財課)	巡視の回数 【単年度管理型】	48回	48回	48回	48回	目標 値どお り	継続	維持	維持	引き続き、公有地・緩衝緑地を適切に管理する必要があるため。
			48回	48回	48回				取組及び資源(財・人)の投入は 妥当である。現状を維持する。		
			9,190千円	9,219千円	16,988千円						
施05 事10	ゴミの不法投棄・放置自動車対策の 推進 (港営課)	西部地区一斉清掃 【単年度管理型】	2回	2回	2回	2回	目標 値どお り	継続	維持	維持	引き続き、臨港緑地を不法投棄されにくい環境に整える必要があるため。
			2回	2回	2回				取組及び資源(財・人)の投入は 妥当である。現状を維持する。		
			10,925千円	3,688千円	3,677千円						
施05 事11	構築物建設、水域占用等の許可 (港営課)	許可審査期間内に審査が完了 できなかった件数 【単年度管理型】	0件	0件	0件	0件	目標 値どお り	継続	維持	維持	法令で定められた手続きであり、事業そのものにコストをかけておらず、成果目標も達成しており、人員配置も適切であるため。
			0件	0件	0件				取組及び資源(財・人)の投入は 妥当である。現状を維持する。		
			47,788千円	47,939千円	47,705千円						
施05 事12	港湾計画の変更に係る環境影響評 価 (計画担当)	環境の保全に関する資料を 作成した件数 【単年度管理型】			1件	1件	目標 値どお り	継続	維持	維持	港湾計画を変更する際に必要な業務のため。
			0件	0件	1件				取組及び資源(財・人)の投入は 妥当である。現状を維持する。		
			0千円	0千円	4,587千円						
		施策コスト(合計)	219,083千円	164,502千円	348,967千円						

3. CHECK(成果目標の状況・元年度の取組内容など)

施策 成果目標	実績等		29年度	30年度	元年度	目標値 [5年度]	成果目標の達成度に対する評価(外部要因等があればその旨を踏まえて記載)
	目標値	%					
名古屋港管理組合温室効果ガス総排出量の削減率	目標値	%	9.2	10.4	11.6	14 ^注	・令和元年度は、エネルギー使用の大半を占める電気使用量の削減等よりの温室効果ガス排出量の削減率の目標値を達成することができました。なお、各年の削減率は、気象条件や施設の運用状況によって増減することがあり、また本組合の温室効果ガス総排出量削減率は長期目標として令和12年度において平成25年度比で26%減と設定しているため、本成果目標値は見直さないこととします。
	実績	%	12.7	14.2	20.3		
放置艇の隻数	(仮目標値) [※]	隻	(914)	(880)	(601)	490	・令和元年度の放置艇の隻数は、放置等禁止区域の定期的な巡視及び行政指導を行ったものの、目標値をわずかに下回りました。今後も粘り強く指導を行うとともに、放置等禁止区域の拡大を検討していきます。
	実績	隻	670	629	607		

注:名古屋港管理組合温室効果ガス総排出量の削減率は、3年度を目標年度としています。

※ 仮目標値 = 初期値(30年) + $\frac{\text{目標値(5年)} - \text{初期値(30年)}}{5\text{年間(中期経営計画期間)}} \times 30\text{年からの経過年数}$

構成事務事業の妥当性(施策目的を達成するために構成した事務事業に不足や問題点はないか?)	
(見直しが必要な場合、見直しの方向性を記入)	○適正・見直しが必要

4. ACTION(課題・2年度以降の取組方針)

元年度に取り組んだ内容
事務事業01 温室効果ガス総排出量の削減 地球温暖化対策推進マニュアルを策定しました。また、それに基づき、各部室局において重点的取組を設定し、その取組を進めました。
事務事業02 風力発電施設の管理・運営 不良個所を発見した場合には速やかに対応しました。また、故障により停止していた2号機の補修が完了し、稼働を再開しました。
事務事業03 西部地区海域環境創造事業 西部地区木材港において、生物調査等の現況調査を行い、造成する浅場の水深、造成材等計画の検討を行いました。
事務事業04 港湾環境の啓発 環境デーなごや、名古屋港開港祭フレンドリーレポート、Let's エコアクション、あいち・なごや生物多様性EXPOへの出展や小中学校、高等学校の環境学習に協力しました。
事務事業05 港内環境の調査 水質の定期調査及び浚渫工事のための底質調査を行いました。中川運河下流部にネットを設置し魚の迷入抑制状況を調査しました。貯木場において水交換による水質改善状況等を調査しました。
事務事業06 放置艇対策の推進 職員による放置等禁止区域等の定期的な巡視を行いました。放置等禁止区域以外で、自主管理団体がいないため新規の放置艇が増加傾向にある筏川地区については、特に重点的に巡視を行いました。また、弥富ポートパークの事業化について庁内合意を図りました。
事務事業07 新舞子ポートパークの管理・運営 指定管理者との連絡調整会議を2ヶ月に1回、モニタリングを四半期毎に実施しました。また、モニタリング結果をもとに、指定管理者の業務内容を評価し、それを名古屋港管理組合のホームページで公表しました。海洋性レクリエーション活動の健全な発展に資するため、体験乗船会など各種行事を行いました。
事務事業08 港湾区域内の漂流物除去 土日休日、祝日及び夜間を除き、委託事業者の作業船による巡回を毎日実施しました。また、漂流物情報に直ちに対応し、港内や運河河川の船舶航行安全環境の確保に努めました。
事務事業09 公有地の管理 月2回の巡視を行い、不法投棄の連絡等があった場合、すみやかに対応を行いました。
事務事業10 ゴミの不法投棄・放置自動車対策の推進 西部地区一斉清掃については、春季(5月24日)、秋季(11月22日)の2回実施しました。放置自動車については、廃物判定基準により廃物として判定された2台の処分を行いました。
事務事業11 構築物建設、水域占用等の許可 事業者から各種申請等を受けましたが、滞りなく処理することができました。許可等に際しては、事前相談により円滑に手続きを進めることができました。その際、リーフレットやHPIによる説明が事業者の理解を深める手助けとなりました。さらに、必要に応じて申請・許可等にかかる現地確認を行いました。
事務事業12 港湾計画の変更に係る環境影響評価 内港地区の専用埠頭計画に係る港湾計画の変更(軽易な変更)に伴う環境の保全に関する資料を作成しました。

課題	2年度以降の取組方針
本組合の温室効果ガス総排出量削減率の長期目標(令和12年度において平成25年度比で26%減)の達成に向け、引き続き、関係者が協力して取組を進める必要があります。	指定管理者等とともに成果を分析評価しながら、引き続き取組を進めます。
今後も経年劣化による故障停止が起こる可能性があり、稼働率低下の懸念があります。	適切な管理に努め、不良箇所を発見した場合は速やかに対応していきます。
生物の生息環境に適合した施設を設計、整備していく必要があります。	生物の生息環境に適合した浅場の構造、施工方法等を検討し、整備を進めます。
より多くの県民・市民に本組合の環境施策を理解してもらえるよう、説明方法等を工夫していく必要があります。	新型コロナウイルス感染症対策からイベントの開催や環境学習の実施が困難な状況ですが、実施する場合は図表や写真など分かりやすい資料を使い、参加者の理解度向上に努めて環境学習活動を行います。
水底質の状況を把握するために必要な調査を、継続して行う必要があります。	引き続き、定期的な水・底質調査を実施し、水環境を良好な状態に維持していきます。
放置艇対策を推進するためには、放置等禁止区域の拡大を検討する必要があります。また、弥富ポートパークの整備を推進するため、令和元年に事業化の庁内合意を得ましたが、引き続き予算の確保等を行い整備を進めていく必要があります。	放置艇の移転、収容のための受け皿となる新舞子ポートパークの空き状況を注視しながら、放置等禁止区域の拡大を検討していきます。また、弥富ポートパークの事業化を推進していくために予算の確保等を行っていきます。
新舞子ポートパークの効率的・効果的な管理運営と利用者サービスの充実を図り、施設の利用率を向上させる必要があります。また、海洋性レクリエーション活動の健全な発展に引き続き寄与する必要があります。	新舞子ポートパークは、放置艇対策の推進において重要な施設であり、放置艇の誘導・収容を適切に行うため、引き続き放置艇所有者に対し施設の利用を働きかけるとともに、放置等禁止区域の拡大を検討していきます。また、海洋性レクリエーション活動の健全な発展に資する目標を達成するため施設を利用したレクリエーションを積極的に行います。
船舶の老朽が見られることから、事業に影響がでないように維持管理計画に則り適正な管理が必要となります。	港内とこれに接する港湾区域内河川の水面清掃を行うとともに、航行船舶の安全及び港内の美化、水面の汚濁防止及び公衆衛生の向上を図ります。
不法投棄の抑制を行っていくことが必要です。	引き続き、巡視を行い、不法投棄の対応を行います。
ゴミの不法投棄、放置自動車は無くなっていないため、今後も継続的な取組を行っていく必要があります。	良好な港湾環境づくりには、ゴミの不法投棄対策や放置自動車の削減・抑制対策は不可欠であり、取組を維持していく必要があります。定期的な臨港地区のパトロール、県民・市民や事業者への啓発に努め、投棄等をされにくい環境を整えます。
港湾の秩序ある開発・利用が行われるよう、名古屋港に係る規制について分かりやすく説明する必要があります。	成果を維持し、引き続き適切な事務処理を行います。
環境の保全に関する資料の作成にあたっては、愛知県環境局などの関係者と調整しながら進める必要があります。	港湾計画の変更にあわせて、関係者と調整しながら変更内容に応じた環境の保全に関する資料を作成します。